

「UTM Eco-tourism」

訪問日時：8月22日

移動手段：貸切バス

訪問場所：UTM Eco-tourism

・ Deer Park

UTMにある Deer Park はキャンパス正面入り口近くに位置しており、約 30 頭のシカがいる。ここにいるアクシスジカは、一般的に、スリランカ、ネパール、バングラデシュ、インド、およびのブリュニ諸島の緑豊かな地域に生息するシカである。

また、アクシスジカはパキスタンで少数発見されている。これは、インドの森林の中で最も一般的な種類のシカである。その体は白い斑点が付いており、赤みを帯びた子鹿であり脚は白である。枝角は堅琴形状の曲線であり、75 センチメートルまで伸び、寿命は約 20～30 年である。日本にいるシカとは種類が異なる。



(アクシスジカ)

・ Recreational Park

UTM レクリエーション公園は、キャンパス近く内にある 53 ヘクタールの保護区の森である。UTM レクリエーション公園の近くには、大学の自然の生態系を保護するために人工的に作られた湖がある。この湖は当初は小さな川であったが、様々な種類の小魚を飼育できるように、UTM の副学長が湖とすることを立ち上げた。湖の小魚は確認できなかったが、少し大きな魚が泳いでいるのが見えた。また、この湖の周りにはたくさんのアヒルが生息しており、緑と生物が共存する自然に近いキャンパスである。



(UTM 内の湖)

・ Tropical Park

トロピカルパークは、大学と地域社会の両方にサービスを提供する公共の公園である。このトロピカルパークはトロピカルハウスと UTM のギャラリー兼美術館になっている木造建物である。これらは自然環境と調和できるように設計されている。

UTM の学生は授業後のリフレッシュに利用レクリエーション活動のために利用されている。

また、トロピカルパークを少し奥に行くとウマを飼育している施設があり約 10 頭のウマが飼われている。ここでは学生がウマと触れ合うことができる。UTM Eco-tourisum では、シカ、アヒル、魚、ウマなどの動物たちと触れ合い、リフレッシュできるキャンパスとなっている。



(トロピカルパーク)

[タグ]

UTM、自然、公園、環境、マレーシア